

「1年目の壁」を越える！

新卒歯科衛生士育成ガイド



はじめに

近年、歯科医院における新卒歯科衛生士の役割はますます重要になっています。患者との信頼関係を築き、医院全体の質を高める存在として、即戦力となることが期待されています。しかし現実には、新卒歯科衛生士が学生から社会人へと移行する際、スキルや意識面で多くの課題に直面することが少なくありません。

新卒歯科衛生士は「学生」ではなく「プロフェッショナル」として患者のケアを行う立場にあります。にもかかわらず、研修が体系的でない場合、基本業務の習得に時間がかかり、現場での貢献が遅れるだけでなく、本人の自信や意欲を損なうリスクも生じます。

本ホワイトペーパーでは、新卒歯科衛生士が初日から戦力となりつつ、確実に成長していける3ヶ月ごとのステップ式育成プログラムを提案します。このプログラムでは、インプット（知識・技術の習得）とアウトプット（実践と検証）のサイクルを繰り返すことで確かな成長を促します。さらに、段階的な目標設定により、新卒歯科衛生士が自信を持って仕事に取り組める環境を整えます。

本ガイドを通じて、院長が安心して新卒歯科衛生士を育成できる仕組みを提供するとともに、医院全体のスムーズな診療体制の構築をサポートします。新人の育成は短期的な投資で終わるものではなく、医院の未来を支える基盤となるものです。このホワイトペーパーが、医院と新卒歯科衛生士双方にとって価値ある研修プランを構築する一助となることを願っています。



株式会社MECEプロデュース 執行役員
日本歯周病学会認定歯科衛生士

三井悠香

目次

1. 新卒歯科衛生士育成の全体像

- ・ 3ヶ月ごとのステップの概要
- ・ インプットとアウトプットのサイクルで叶えられることは？

2. 医院全体で新人を迎え入れる仕組みづくり

3. 3ヶ月ごとの育成プログラム詳細

- ・ 0～3ヶ月：基礎固めと即戦力化
- ・ 4～6ヶ月：基礎力の強化と歯周基本治療の習得
- ・ 7～9ヶ月：応用力の習得と歯周基本治療の実践
- ・ 10～12ヶ月：実践力の強化とメンテナンス・SPTへの対応

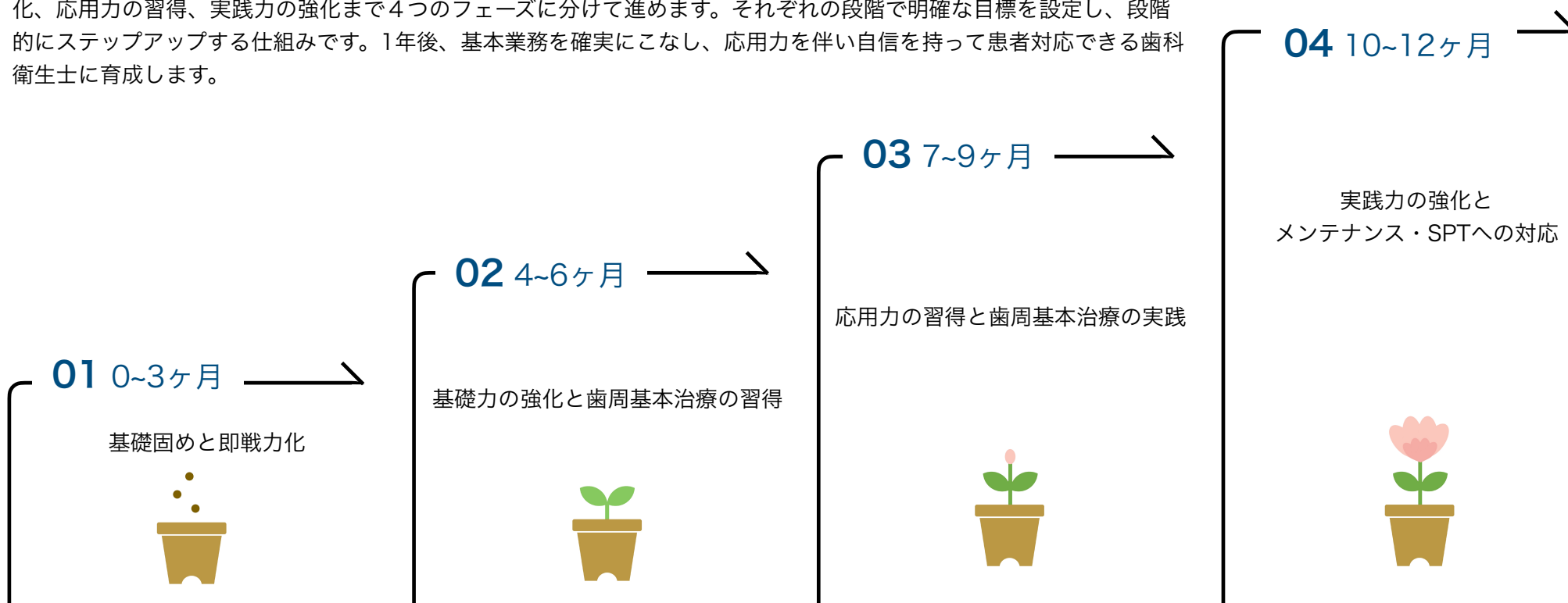
4. 具体的な研修ツール

- ・ 指導経過実施表
- ・ スケーリング模擬患者フィードバック表

1.新卒歯科衛生士育成の全体像

3ヶ月ごとのステップ概要

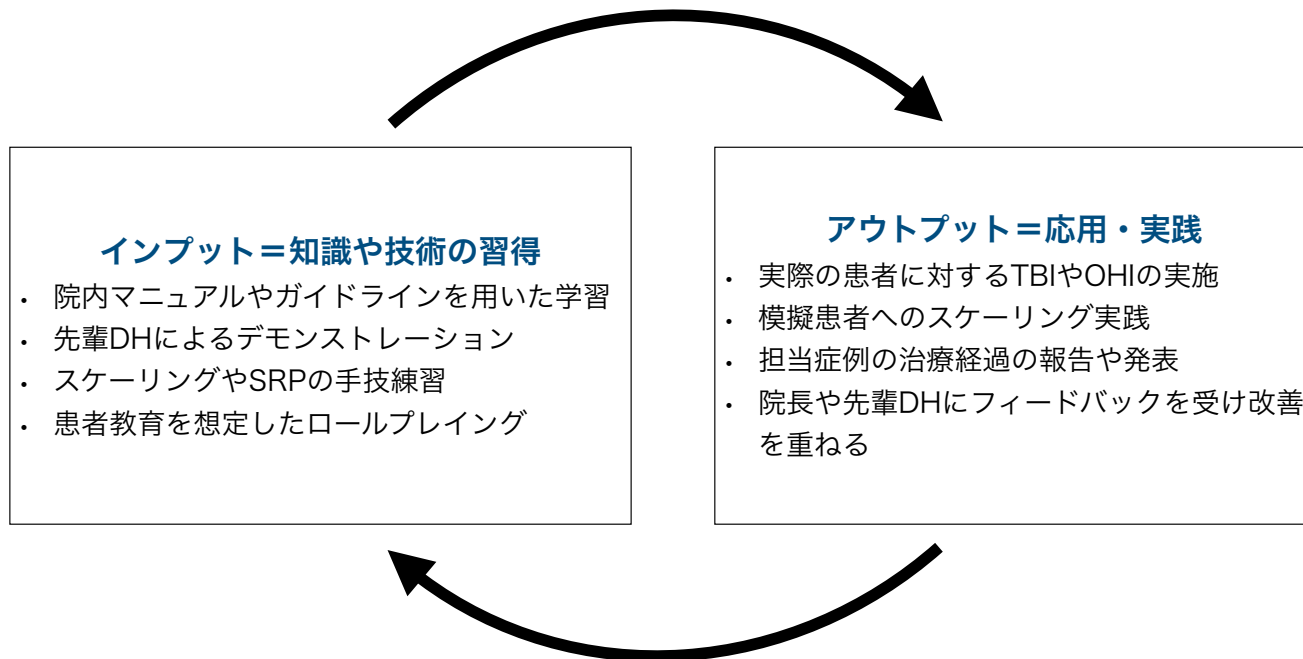
新人歯科衛生士を効果的に育成するためには、全体を見通した明確なプログラムが必要です。基礎固め、基礎力の強化、応用力の習得、実践力の強化まで4つのフェーズに分けて進めます。それぞれの段階で明確な目標を設定し、段階的にステップアップする仕組みです。1年後、基本業務を確実にこなし、応用力を伴い自信を持って患者対応できる歯科衛生士に育成します。



1.新卒歯科衛生士育成の全体像

インプットとアウトプットのサイクルで叶えられることは？

「インプット」と「アウトプット」を繰り返すことは、学びを定着させ、実践力を養うために欠かせません。
このサイクルを適切に設計することで短期間で確実な成長を促します



一人前の歯科衛生士

2. 医院全体で新人を迎え入れる仕組みづくり

新人の適応を促進するためには、医院全体が協力してサポートする環境づくりが不可欠です。新卒歯科衛生士が安心して学び自信を持てる環境を整えます。

01

院内マニュアルの準備

基本業務の手順を分かりやすくまとめた資料を提供します。マニュアル作成は業務フローを明確にし、ルールを設定します。新人が見ても業務の手順が理解できるレベルまで詳しく記載することが大切です。

02

指導計画実施表の準備

「何を」「いつまでに」「誰が」教えるのか、またそれが「1人で実施できる」ようになったのかを一覧表にします。日々の業務で習得すべきスキルを可視化し、進捗を確認できる仕組みを作ります。

03

指導担当者の明確化

新人指導の担当者を決め、一貫して指導を行います。指導の責任の所在が明確になり、新人指導がスムーズに進みます。

04

メンター制度の導入

経験豊富な先輩スタッフをメンターに任命し、新人の質問や悩みを受け止める存在とします。指導担当者とは別に設定、利害関係のない「斜めの関係」で支援し、新卒歯科衛生士の仕事やメンタル面など幅広い視点から成長をサポートします。

05

定期的なフォローアップ

定期的に指導担当者とメンター、新人が進捗確認やスキル練習を行う時間を確保します。新卒歯科衛生士が抱える課題を早期に解決。また、1ヶ月ごとにスキルテストを実施し成長を評価し、院長と共有します。

3.3ヶ月ごとの育成プログラム詳細

0～3ヶ月：基礎固めと即戦力化

目標は基本業務を独力でこなせるようになり、日々の診療に参加できることです。この時期は日常業務の流れを理解し、基本的な診療補助と患者対応を習得します。診療補助は「見て学ぶ」だけでなく、日々のチェックリストで自己評価を促します。加えてスケーリングと歯面清掃の反復練習による手技定着でメンテナンスデビューに備えます。

1.診療補助

インプット

- ・院内マニュアルを用いて準備・片付け、診療補助の手順を学ぶ。
- ・診療補助の流れを先輩の業務を見学しながら理解する。

アウトプット

- ・先輩のサポートを受けながら実際の診療補助を行う。
- ・スムーズな器具渡しや患者誘導を実践する。

3.患者対応

インプット

- ・初診患者の誘導や挨拶、問診票の確認方法をロールプレイで練習。
- ・笑顔や声のトーンなど、患者への接し方のポイントを学ぶ。

アウトプット

- ・実際の患者に挨拶し、簡単な会話を試みる。
- ・初診時の問診票の内容を聞き取るサポートを実施する

2.スケーリングと歯面清掃

インプット

- ・模型を使用したスケーリングの手技練習。
- ・基本的な持ち方や圧のかけ方、動かし方を習得するためのハンズオン研修。

アウトプット

- ・院内スタッフを相手にスケーリングと歯面清掃を試行する。
- ・指導者からフィードバックを受けながら、手技を改善する。

4.ブラッシング指導

インプット

- ・模型を使用して、基本的なブラッシング指導の方法を習得。
- ・プラーク染め出しの手順と解説方法を学ぶ。

アウトプット

- ・実際の患者に対してブラッシング指導を行う
- ・プラーク染め出し結果を説明し、改善方法を提案する。

3.3ヶ月ごとの育成プログラム詳細

4～6ヶ月：基礎力の強化と歯周基本治療の習得

目標は基本業務を基盤にあらゆる診療補助に対応します。また3ヶ月目までに習得した基本スキルを活かして歯肉縁上の操作のみで改善の見込める患者の対応をします。この時期は実践を通して患者ごとに適したケアを提供できる力を身につけます。加えてSRPの基本手技習得で歯周基本治療ができるように準備します。

1.SRP

インプット

- ・臨床現場でのSRPの具体的な手順と注意点を座学で学ぶ。
- ・SRPが必要なケースの判断基準(ポケット深度や炎症の程度)を学習。
- ・顎模型やトレーニング用マネキンを使用した練習。

アウトプット

- ・先輩スタッフの監修のもと患者へのSRPの実施。

3.歯周組織検査

インプット

- ・検査項目(PPD、PCR、出血、動揺)の目的と意味を座学で学ぶ。
- ・模型を使用してプロービングの正確な挿入角度や深さを読み取る練習。

アウトプット

- ・ポケットの浅い患者を対象にプロービングを実施し測定を行う。
- ・測定データをもとに検査結果を患者に説明する。

2.口腔内写真の撮影と記録

インプット

- ・口腔内写真撮影の基本操作（カメラ設定、撮影の角度・ポジション）を学ぶ。
- ・症例記録における写真の役割と活用方法を理解する。

アウトプット

- ・実際の患者の口腔内写真を撮影し、症例記録に反映させる。
- ・撮影した写真を用いて院内勉強会でプレゼンテーション。

4. 診療補助の高度化

インプット

- ・外科処置やインプラント治療の補助方法を座学で学ぶ。
- ・術中の器具管理の応用的な知識を習得。

アウトプット

- ・外科処置のアシスタント業務に参加し、器具の受け渡しや術中サポートを実践。
- ・術後の患者ケアを担当（術後指導や清掃方法の説明）。

3.3ヶ月ごとの育成プログラム詳細

7～9ヶ月：応用力の習得

目標は個別の患者に応じた柔軟な対応力を身につけ、歯周基本治療を実践していくことです。主体的に業務を進める応用力を養い、院内のルーティン業務を確実にこなしていきます。この時期は実際の患者対応を通して自信をつけることが重要です。応用的なスキルを習得するだけでなく、実践を重ねることで効率よく成長を促します。

1. 歯周基本治療

インプット:

- ・ 抜去歯を用いてSRPの練習を繰り返し行う。
- ・ 改善が見られないケースへの対応方法を学ぶ。

アウトプット

- ・ 担当ケースの治療経過をまとめ、行ったことを発表後フィードバックを受ける。

3. コミュニケーション能力の向上

インプット

- ・ クレーム対応や患者の心理的ケアについての学ぶ。
- ・ さまざまな患者タイプへの対応方法をロールプレイで練習。

アウトプット

- ・ 実際の患者対応時に、質問や不安に対して積極的に応答する。
- ・ 患者説明の機会を増やす。

2. 保健指導の応用

インプット

- ・ 患者ごとのリスク評価方法（喫煙、糖尿病、歯周病などの関連性）を学ぶ。
- ・ 食習慣や生活習慣に基づいた指導方法を研修で学習。

アウトプット

- ・ 実際の患者に合わせたオーダーメイドのブラッシング指導や生活改善の提案を行う。

4. メンテナンス

インプット

- ・ 歯周病の再発予防におけるメンテナンスの役割を理解し維持管理の意義を学ぶ。
- ・ 実際の症例を用いて、メンテナンスの流れをシミュレーション。

アウトプット

- ・ 患者に対して定期メンテナンスを実施（先輩のフォローを受けながら）。
- ・ メンテナンスの経過を報告、共有し評価や改善点のフィードバックを受ける。

3.3ヶ月ごとの育成プログラム詳細

10～12ヶ月：実践力の強化とメンテナンス・SPTへの対応

目標は自分で考え、行動する力を養い業務全体を俯瞰できる視点を身につけることです。同時に歯周基本治療を独力で完遂させられることと、メンテナンス・SPTでの長期管理ができるようになることです。臨床現場での実践力をさらに強化し、自信をもって対応できる歯科衛生士へ成長します。

1. 歯周基本治療のステップアップ

インプット

- ・歯周基本治療後の再評価方法（ポケット深度測定、歯肉の状態観察）を学ぶ。

アウトプット

- ・再評価の実施と患者への結果説明を行う。
- ・必要に応じて院長に相談し、次の治療計画を患者に説明する

3. 保健指導の発展

インプット

- ・ライフステージに応じた口腔ケア（妊婦、子ども、高齢者）についての講義を受ける。
- ・生活習慣やリスクファクターに基づく指導内容の立案方法を学ぶ。

アウトプット

- ・妊婦患者に対する歯周病リスクの説明とブラッシング指導を実施する。

2. 定期メンテナンス・SPTの実践強化

インプット

- ・SPTの目的とその流れ、患者ごとのリスク評価と記録の方法を学ぶ。
- ・ポケット内のデブライトメントを顎模型で練習。

アウトプット

- ・SPTの経過を報告、共有し評価や改善点のフィードバックを受ける。
- ・プラークの評価や再発リスクの説明を患者に行い、改善案を提案する。

4. 多様な症例への対応

インプット

- ・インプラント患者や矯正治療中の患者への口腔ケア方法を学ぶ。
 - ・特殊な疾患やハイリスク患者への対応法についての勉強会に参加する。
- ##### アウトプット
- ・インプラントや矯正装置を装着した患者に適切なケア指導を実施。
 - ・ハイリスク患者に合わせたブラッシング指導や生活指導を行い、効果を記録する。

4.具体的な研修ツール

指導計画実施表の使用例

指導内容	指導者		4月				5月				6月				学習	独力
			1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目		
CR充填	三井	計画														
		実施														
In形成	①指導を担当する先輩 DHの名前を記入	計画														
		実施														
In印象		計画														
		実施														
InSet		計画														
		実施														
抜髄		計画														
		実施														
RCT		計画														
		実施														
RCF		計画														
		実施														
コア築造		計画														
		実施														
FCK形成		計画														
		実施														
FCK印象		計画														
		実施														
FCKSet		計画														
		実施														

②指導を行う予定の期間を設定して赤色を塗ります

③実際に指導を行った期間の青色を塗ります

計画と実施にズレがある。
指導の進捗が遅れている！

④学習や見学（＝インプット）が済んだら指導担当者がサインをします

⑤新卒歯科衛生士が単独で行えたら指導担当者がサインをします

4.具体的な研修ツール

指導計画実施表

指導内	指導者		4月				5月				6月				学習	独力
CR充填		計画														
		実施														
In形成		計画														
		実施														
In印象		計画														
		実施														
InSet		計画														
		実施														
抜髄		計画														
		実施														
RCT		計画														
		実施														
RCF		計画														
		実施														
コア築造		計画														
		実施														
FCK形成		計画														
		実施														
FCK印象		計画														
		実施														
FCKSet		計画														
		実施														

4.具体的な研修ツール

スケーリング模擬患者フィードバック表

<div>対象スタッフ名</div> <div>コメント</div>	<div>対象スタッフ名</div> <div>コメント</div>	<div>対象スタッフ名</div> <div>コメント</div>
<div>対象スタッフ名</div> <div>コメント</div>	<div>対象スタッフ名</div> <div>コメント</div>	<div>院長</div> <div>コメント</div>

おわりに

本ガイドでは、新卒歯科衛生士が1年間で実践力を強化し、患者に貢献できる歯科衛生士へと成長するための研修プログラムを紹介しました。このプログラムは、インプットとアウトプットを繰り返し行うことで、基礎から応用、実践へとステップアップできるよう設計されています。また、初日から戦力として活躍できる体制づくりを目指し、医院全体で新人を支える仕組みも提案しました。

新卒歯科衛生士が確実に成長するためには、計画的な指導と丁寧なフィードバックが必要です。この取り組みを通じて、新人の成長を見守ることは、新卒歯科衛生士のためだけではなく医院全体のスキル向上や患者満足度の向上にもつながります。

未来の歯科医療を支える若い歯科衛生士たちが、より良い環境で力を発揮し輝けるように。院長先生をはじめとする歯科医院の皆様が、このガイドを参考に新卒歯科衛生士育成の一助としていただければ幸いです。

新しい歯科衛生士の挑戦と成長が、歯科医業全体の未来を明るく照らしますように。

会社概要

会社名	株式会社MECEプロデュース（ミーシープロデュース）
本社所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿2-12-13 新宿アントレサロンビル2階
設立	2020年8月3日（2019年2月1日 個人事業主として事業開始）
代表者	代表取締役CEO 河島 康一 取締役COO 磯野 寧子 社外取締役 前池 綾乃 社外取締役 宮本 貴文
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・医療機関を対象としたコンサルティング事業・医療機関を対象とした経営実務サポート事業・セミナー、イベント、講演会及び講演会等の企画、運営、管理及び実施・人材育成のための教育、研修及び指導・各種商品の企画、製造、販売および通信販売業・オンラインサロン運営事業・書籍その他印刷物及び電子出版物の企画、編集、制作、出版並びに販売・ウェブサイト、ウェブコンテンツ、その他インターネットを利用した各種サービス等の企画、制作、販売、配信、運営及び管理



歯科医院・クリニックの経営参謀

MECEプロデュース®

無断転載・無断複製については著作権侵害として厳正に対処いたします